



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 大平洋金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5541 URL <https://www.pacific-metals.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤山 環 (TEL) 03-3201-6681
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,262	△39.9	△53	—	1,293	15.3	1,260	24.0
2020年3月期第2四半期	22,069	△15.7	164	△91.2	1,122	△68.1	1,016	△69.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,164百万円(18.1%) 2020年3月期第2四半期 1,831百万円(△22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	64.62	—
2020年3月期第2四半期	52.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	71,205	65,572	91.8
2020年3月期	69,960	63,506	90.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 65,346百万円 2020年3月期 63,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	5.00	25.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,342	△24.5	△1,189	—	1,439	48.0	1,397	123.4	71.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	19,577,071株	2020年3月期	19,577,071株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	73,105株	2020年3月期	72,564株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	19,504,287株	2020年3月期2Q	19,505,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行のため緊急事態宣言が発出され、各種行動制限等を実施した影響で個人消費及び企業収益等は急速に減少し、経済活動は大幅に落ち込み、緊急事態宣言解除後には段階的な経済活動再開によって一部に持ち直しの動きは見られたものの、厳しい状況で推移しました。

海外経済については、米中間の通商政策を巡る動向、金融資本市場変動の影響及び中東の地政学的リスク等による先行き不透明感は継続する中で、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響で雇用・所得環境等が急激に悪化し、一部に経済活動再開による回復は見られたものの、総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、原料価格高等に起因する収益性重視の強化体制を継続しており、また、海外大手生産者の稼働状況は業界全般の生産活動へ大きな影響を与えているため、不透明な稼働状況が継続していることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要収縮も見られ、一部では回復基調を辿るものの、概ね厳しい状況で推移しました。

このため、フェロニッケル需要は、低調な推移となりました。

フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達には、新型コロナウイルス感染症予防対策の一環で、一部調達先国のニッケル鉱山が一定期間操業を停止せざるを得ない状況も見られましたが、操業・出荷状況は回復しており、当社生産・販売数量に見合う調達は維持しました。

ニッケル鉱石の価格に関しては、新型コロナウイルス感染症に伴う価格動向への不透明感は一時ありましたが、インドネシア未加工鉱石禁輸政策の再開に伴う鉱石供給懸念の継続を背景に、緩やかな上昇傾向で推移しました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響に伴う経済活動の停滞等もあって、期の初めは低調な推移ではありましたが、各国に段階的な経済活動再開の動きがみられ、生産活動等の回復及び経済回復の期待感を背景に、緩やかな上昇傾向となりました。一方で、世界的な貿易制限等の影響及び依然不安定な原油等商品市況等、また、新型コロナウイルス感染症の長期化懸念に伴う景気回復の持続に不確実性もあり、先行きに不透明感を残した推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前述のようなステンレス鋼業界の厳しい環境に伴うステンレス生産者の稼働率低迷、並びに海外ステンレス生産者の原料調達が比較的価格優位性が見られるニッケル銑鉄等へシフトしたこと等もあって厳しい販売環境となり、前第2四半期連結累計期間と比べ国内外向けともに減少し、全体では前年同四半期比35.0%の減少となりました。

また、フェロニッケル生産数量は、販売数量と概ね同様の傾向で、減少しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比0.5%上昇したものの、当社適用平均為替レートが前年同四半期比2.3%の円高となったことに加え、不透明感の増す事業環境への対応等のため、価格安となりました。

このように、不透明感の継続する経営環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対して、「感染拡大防止に関する行動指針」を策定し、感染予防等に努めており、販売先及び調達先の各国と適時適切なコミュニケーションを取りながら、事業活動等に与える感染症の影響について低減を図っております。また、新型コロナウイルス感染症の影響は、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、このような事業環境等への対応施策は継続的に進めており、収益基盤をより一層強化させるため、省エネ・低コスト生産等によるトータルコスト削減の推進、最適生産体制構築のための設備強化及び鉱石の長期安定調達へ向けた取り組み並びに製品の優位性等を活かした機動的な販売体制の構築等に努めております。さらには、海外事業展開・新規鉱山開発等の早期実現及びコストミナムを追求するための業務効率改善策の強化等、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が13,262百万円、前年同四半期比では39.9%の減収となりました。損益面では、前連結会計年度に計上したたな卸資産の収益性低下による簿価切下げ額の一部戻入れ等を含めた営業損失は53百万円(前年同四半期営業利益164百万円)、営業外収益において持分法適用会社6社の持分法による投資利益1,146百万円の計上等を含めた経常利益は1,293百万円、前年同四半期比では15.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,260百万円、前年同四半期比では24.0%の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四

半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は12,982百万円、前年同四半期比40.2%の減収、営業利益は118百万円、前年同四半期比63.2%の減益となりました。

②ガス事業

ガス事業についての経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり受注量は減少し、また、設備修繕に伴う費用増等もあり、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は277百万円、前年同四半期比7.3%の減収、営業損失は82百万円(前年同四半期営業損失31百万円)となりました。

③その他

その他の事業部門につきましては、不動産事業は販売不振及び廃棄物リサイクル事業は受注等低迷等により、当部門は損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は54百万円、前年同四半期比50.7%の減収、営業損失は94百万円(前年同四半期営業損失140百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産については、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,245百万円増加し、71,205百万円となりました。

流動資産では、主な減少要因である受取手形及び売掛金の回収等に伴う減少はありましたが、同様の理由等による現金及び預金の増加、前連結会計年度末において、収益性の低下に伴い切下げたたな卸資産簿価が当第2四半期連結会計期間末では収益性が改善したことで戻入れており、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ419百万円の増加となりました。

固定資産では、一部保有株式の市場価格上昇に伴う投資有価証券の増加及び投資その他の資産のその他に含まれる企業財産包括保険の更改に伴う長期前払費用の増加等により、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ826百万円の増加となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ820百万円減少し、5,633百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金の決済による減少等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ870百万円の減少となりました。

固定負債では、一部保有株式の市場価格上昇に伴う繰延税金負債の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ49百万円の増加となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,065百万円増加し、65,572百万円となりました。

株主資本は、利益計上及び配当金の支払い等を加減算し1,162百万円の増加、その他の包括利益累計額はその他有価証券評価差額金の増加等により937百万円の増加及び非支配株主持分は33百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症は国内外の景気に急激な影響を及ぼしており、当面、企業活動は鈍い動きが続くものと見られ、経済の先行きは不確実性が極めて高くなっており、当社グループへも大きな影響が見込まれます。

数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、海外の一部は回復基調を辿るものの、フェロニッケル需要の回復の動きは未だ鈍く、厳しい状況での推移が見込まれます。原料鉱石調達面では、影響は見られないものの、調達先国のニッケル鉱山の操業状況については、新型コロナウイルス感染症の影響は注視する必要があります。また、持分法適用関連会社である鉱山会社の持分法による投資利益への影響も見込まれます。

価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、各国の経済再開を背景とした需要の持ち直し等による経済回復の期待感もあって、景気回復の持続性には懸念を抱えながらも緩やかに上昇するものと見込んでおります。この影響に伴い、前連結会計年度に計上のたな卸資産の簿価切下げ額について、評価の改善が予想され、売上原価への影響が見込まれます。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響は、当連結会計年度においても継続するものと考えられますが、そうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き、強く推し進めて参ります。

以上から、2020年10月30日付「売上原価(たな卸資産評価減の戻入れ額)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」において、連結業績予想及び配当予想を以下のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

《参考》

【業績予想の修正】

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年8月7日発表)	百万円 33,307	百万円 △758	百万円 1,201	百万円 1,034	円 銭 53.01
今回修正予想(B)	33,342	△1,189	1,439	1,397	71.63
増減額(B-A)	35	△431	238	363	
増減率(%)	0.1	—	19.8	35.1	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	44,133	△1,879	972	625	32.06

【配当予想の修正】

(修正の内容 2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回発表予想 (2020年8月7日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
今回発表予想	—	—	—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00			
(参考)前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	5.00	25.00

【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年8月7日発表)	9,380	12,620	22,000	9,371	10,549	19,920
今回発表予想	9,674	12,326	22,000	9,374	10,390	19,764
(参考)前期実績 (2020年3月期)	14,889	13,644	28,533	16,271	14,614	30,885

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年8月7日発表)	5.73	6.22	6.01	108.20	109.32	108.84
今回発表予想	5.94	6.48	6.24	106.06	106.28	106.18
(参考)前期実績 (2020年3月期)	5.90	6.71	6.29	108.52	108.45	108.49

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,714	18,972
受取手形及び売掛金	8,880	5,927
有価証券	2,400	2,300
商品及び製品	8,578	9,262
仕掛品	227	309
原材料及び貯蔵品	5,180	6,264
その他	2,962	2,324
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,942	45,361
固定資産		
有形固定資産	8,596	8,721
無形固定資産	22	21
投資その他の資産		
投資有価証券	16,303	16,591
その他	101	516
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	16,398	17,101
固定資産合計	25,018	25,844
資産合計	69,960	71,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014	484
未払費用	1,178	1,083
未払法人税等	69	47
賞与引当金	237	283
その他	539	269
流動負債合計	3,038	2,168
固定負債		
退職給付に係る負債	805	733
繰延税金負債	310	539
再評価に係る繰延税金負債	745	745
環境対策引当金	13	33
訴訟損失引当金	24	24
契約損失引当金	1,507	1,377
その他	8	10
固定負債合計	3,414	3,464
負債合計	6,453	5,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	46,677	47,840
自己株式	△447	△448
株主資本合計	63,633	64,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	1,149
土地再評価差額金	852	852
為替換算調整勘定	△1,138	△1,105
退職給付に係る調整累計額	△383	△344
その他の包括利益累計額合計	△386	550
非支配株主持分	259	225
純資産合計	63,506	65,572
負債純資産合計	69,960	71,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	22,069	13,262
売上原価	20,388	11,988
売上総利益	1,680	1,274
販売費及び一般管理費		
販売費	824	562
一般管理費	691	765
販売費及び一般管理費合計	1,516	1,327
営業利益又は営業損失(△)	164	△53
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	72	262
不動産賃貸料	66	57
持分法による投資利益	897	1,146
その他	62	154
営業外収益合計	1,100	1,623
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	55	171
その他	86	104
営業外費用合計	142	275
経常利益	1,122	1,293
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	4	5
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	7	5
税金等調整前四半期純利益	1,115	1,289
法人税、住民税及び事業税	127	209
法人税等調整額	△31	△147
法人税等合計	96	62
四半期純利益	1,018	1,226
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△33
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,016	1,260

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,018	1,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	822	875
繰延ヘッジ損益	△2	—
退職給付に係る調整額	28	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	30
その他の包括利益合計	813	937
四半期包括利益	1,831	2,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829	2,197
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。